

アンケート集計結果 パーク24株主通信2020（2020年10月期第2四半期実施）

2020年6月に発行した株主通信のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。2020年10月期は新型コロナウイルス感染症の影響により業績が大きく落ち込んだことを受け、配当を無配、株主優待を中止とさせていただきます。当アンケートではこれらの株主還元について、大変多くのお言葉を頂戴しました。当冊子内の“社長メッセージ”にございますとおり、株主の皆様には多大なるご心配をおかけしておりますが、グループ一丸となって目標達成に向けて邁進しております。甚だ勝手なお願ひではございますが、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。株主様からいただいたサービスに関するコメント等の一部を紹介させていただきます。

株主の皆様からのメッセージをご紹介します。

<p>株主様</p> <p>タイムズパーキングが、鉄道の駅近くだけでなく、バス停や住宅地にも多くあると利用者にとって大変有難いです。</p>	<p>株主様</p> <p>レンタカーの店舗が閉まっている時間、車を借りたり、返したりできなくて不便です。</p>	<p>株主様</p> <p>英国など海外は、日本よりも感染症の影響が強いと思うが、今後どのように事業を展開していくか、戦略を教えてください。</p>	<p>株主様</p> <p>近い将来車の自動運転が実用化されると思っています。貴社がどのようにビジネス展開しようとしているのか、紹介頂きたい。</p>
<p>満員電車通勤をさせて車通勤も増えました。勤務先近くの駐車場を探す人も多いようですので、そのような地域の開発を進めては？</p>	<p>レンタカーを借りる際の手続きが難しい。初心者にもわかりやすい予約方法があるといいと思います。</p>	<p>海外事業の業績回復のために、どのような取り組みをしていくのでしょうか？</p>	<p>将来的には自動運転車を導入して、運転できない人でもカーシェアリングを利用できるようにしてほしい。</p>

パーク24グループ

感染症の影響で人々の動きが大きく変化し、それに伴い地域ごとに駐車場の需要や使われ方も変わってきています。当社グループはTONIC(トニック)と呼ばれる自社開発のシステムを活用することで、全国にある全てのタイムズパーキングの日々の利用状況などを正確に把握しています。この利用状況から、需要の変化を迅速に把握し、それに合わせた駐車場の開発や駐車料金の変更などを行なっています。2021年10月期の新規開発は、需要がある場所へ迅速に行い、早期に収益化を図る厳選開発を行ってまいります。

パーク24グループ

当社グループは、レンタカーをカーシェアのように利用できる新しいモビリティサービス「タイムズカー」の構築を強力に推進しています。タイムズカーでは、クルマを借りる時に物理的な鍵の受け渡しが必要ないため、レンタカー店舗の営業時間外であってもクルマを借りる(返す)ことができます。また、カーシェアと同様にスマートフォンアプリまたはWEBから簡単に予約することができるため、とても便利にご利用いただけます。

タイムズカーのご紹介
<https://share.timescar.jp/about/timescar/>



パーク24グループ

海外は、引き続きコスト削減を徹底すると同時に「各国版タイムズパーキング」の開発を強力に推進します。「各国版タイムズパーキング」とは、国内駐車場の事業戦略をモデルに構築して、駐車台数が少ない物件を、1年程度の短い契約期間で運営し、かつ数多く点在させるものです。短期契約は契約のしやすさにつながり、数多く点在させることでドミナント化が可能となり、駐車料金のプライスリーダーになれると同時に管理・メンテナンスコストを抑制できるといった多くのメリットがあります。こうした取り組みにより、将来の利益成長を牽引する事業へと成長させていきます。

パーク24グループ

今回のアンケートでは、自動運転に関するコメントを多くいただきました。将来的に自動運転車が普及した場合、当社グループが強力に推進しているタイムズカーにおいては自動配車、乗り捨てサービス等が実現し、お客様の利便性は飛躍的に向上すると考えています。タイムズパーキングにおいては、自動運転車が普及しても、「クルマをとめる場所」としてこれまでと変わらず必要であると考えています。これからも当社グループは環境の変化や新しいニーズに合わせて、タイムズパーキングを進化させ、常に必要とされる駐車場を創り続けてまいります。

パーク24株主通信2020

2020年10月期 通期
2019年11月1日 - 2020年10月31日

社長メッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々および感染症の拡大により困難な生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、感染症の防止に奮励されている方々、社会や生活の安定に必要な事業に携わられている方々のご尽力に、心より感謝申し上げます。

2020年10月期の振り返り

2020年10月期(以下、'20期)は、世界的に感染症が拡大し、ロックダウンや行動制限が発令される等、これまで当たり前だと思っていた多くのことが大きく変わりました。私たちも、これほど人々の移動が減り、サービスの利用が減少するとは想像もしていませんでした。

こうした未曾有の事態のなか、当社グループはコロナ禍における3つの基本方針として、「お客様の安全を守る」「社員の安全を守る」そして「交通インフラサービス企業としての使命を果たす」を掲げ、事業継続に向けて様々な取り組みを行いました。

コロナ禍における3つの基本方針

お客様の安全を守る

社員の安全を守る

交通インフラサービス企業としての使命を果たす

まず、「お客様の安全を守る」ため、モビリティ車両は定期清掃の際の消毒を徹底すると同時に、車内に除菌グッズを設置しました。また、駐車場や店舗スタッフのマスク着用を徹底し、お客様が安心・安全にサービスをご利用いただけるよう対策をしました。

次に、「社員の安全を守る」ため、可能な限り移動や接触をせずに働ける環境を整えました。勤務体系は基本的に在宅勤務とし、そのために必要な環境を整備しました。やむなく出社する場合は、時差出勤やクルマ出勤を推奨しました。

このような対策をした上で、「交通インフラサービス企業としての使命を果たす」ため、各サービスを提供し続けてまいりました。

2020年10月期 事業別の取り組み

駐車場事業国内は、2020年1月頃までは消費税対応としての駐車料金変更が順調に進捗していましたが、2月頃から感染症拡大とともに駐車場の稼働が落ち込み始めました。緊急事態宣言下にあった5月を底に稼働は徐々に回復しましたが、感染症の影響は依然として受け続けました。そのため、新規開発は厳選して行いながら、管理・メンテナンス費用の抑制に取り組むと同時に、誠に心苦しいことではございますが駐車場の土地・施設オーナー様へ地代家賃改定のお願いをさせていただきました。

モビリティ事業は、特にレンタカーにおいて、インバウンドや国内旅行需要が大きく落ち込みました。そのため、レンタカー車両は需要に合わせて保有台数の適正化を行いました。カーシェアにおいても一時的に利用が落ち込みましたが、密を避けた移動手段として認識され

始めたこともあり、従前から高かった需要がさらに高まり、会員数は順調に増加、利用件数も順調に伸長しました。また、期初から取り組んでいたレンタカーとカーシェアを融合した新しいモビリティサービス「タイムズカー」への移行を強力に推進しました。

駐車場事業海外は、主な展開国である豪州・英国において、強制力の強いロックダウンや行動制限が発令されたことで国内以上に駐車場の稼働が落ち込みました。その後、制限緩和に伴い緩やかに回復しましたが、豪州の一部で感染が再拡大し、それに伴う再規制等があり、稼働は低調に推移しました。海外においても、国内と同様、管理・メンテナンス費用の削減を徹底して行うとともに、土地・施設オーナー様へ地代家賃改定のお願いをさせていただきました。

2020年10月期 業績ハイライト

各事業において様々な対策に取り組むと同時に、グループ全体としても、役員賞与の不支給を含めて役員報酬最大75%減額や投資の抑制等、可能な限りのコスト抑制を行いました。しかしながら、売上高の減少が大きく、'20期は売上高2,689億円、営業損失146億円、経常損失151億円となり、特別損失として海外のグループ会社National Car ParksとSecure Parkingの将来計画を見直したことによるのれん等の減損損失等を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失は466億円と、上場以来初の減収・赤字決算となりました。

当期純損失の計上により、財務の健全性を測る指標である株主資本比率は12.4%(前期末33.3%)と大きく低下しました。加えて、今後の事業環境は依然として不透明であることから、事業継続のためには手

元流動性の確保と財務健全性の回復が急務と考え、'20期の配当は無配とさせていただきます。また、株主の皆様にご支援への感謝を示すと同時に当社サービスへの理解を深めていただくための株主優待(タイムズチケット)につきましても、利益還元の公平性を慎重に検討し、'20期は中止とさせていただきます。

株主・投資家の皆様には大変なご心配、ご迷惑をおかけし、ご期待に沿うことができなかったことにつきましては、大変申し訳なく思っております。'20期につきましては、私どもにとって極めて厳しい経営環境でありましたことを、誠に勝手なお願いではございますが、何卒ご理解賜りたく存じます。

2021年10月期の見通しと取り組み

'21期においては、感染症の影響は'20期ほどではなくとも、ある程度受けると想定しております。そのため、コロナ禍における3つの基本方針に沿った取り組みを遂行するとともに、「赤字からの脱却」を掲げ、コスト抑制・削減を徹底して行うと同時に、スピード感を持って事業環境の変化に対応できるよう各事業の構造改革を強力に推進してまいります。

駐車場事業国内においては、管理・メンテナンス費用の抑制を徹底するとともに、各エリアの需要に合わせて料金設定や駐車場台数の変更等の運用施策を行い、さらに、確実に収益化できる物件に絞った厳選開発を推進します。これらにより、事業の筋肉質化を図ります。また、コロナ禍でも安心して駐車場をご利用いただけるよう、新型精算機タイムズタワーやタイムズクラブアプリ等を活用して、キャッシュ

レスや接触しなくても精算可能な次世代駐車場の開発を進めていきます。

モビリティ事業においては、「タイムズカー」の構築スピードを加速させます。それによりサービスを拡充させるとともに、車両台数を大幅に増加させ、併せて車両1台当たりの収益力を高めることで、事業収益の最大化を図ります。

駐車場事業海外においては、国内より強く感染症の影響を受けると想定しています。そのため、管理・メンテナンスの見直しや不採算物件の対応を徹底的に行うことでコスト抑制・削減を図ります。また、国内駐車場の開発戦略である「小型・分散・ドミナント化」を取り入れながら、各国の需要に合わせた短期契約駐車場「各国版タイムズパーキング」の開発を進めることで、長期契約・大型駐車場が多い事業構造を改革し、事業リスクを低減させると同時に、収益力の改善に努めます。

これらの取り組みにより、'21期は、サービス規模においては、国内駐車場20,364件・740,325台、タイムズカー58,000台、海外駐車場3,180件・719,871台を、業績においては売上高2,820億円、営業利

業績	'19期	'20期	'21期計画
売上高	3,174億円	2,689億円	2,820億円
売上総利益	780億円	363億円	639億円
営業利益又は損失	223億円	▲146億円	135億円
経常利益又は損失	215億円	▲151億円	85億円
当期純利益又は損失	123億円	▲466億円	50億円

益135億円、経常利益85億円、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円を見込んでおります。

財務の健全化と株主還元について

財務につきましては、これまで順調に事業成長することで健全な状態を維持しておりましたが、'20期の業績悪化に伴う損失とのれん等の減損損失により健全性が著しく低下しました。そのため、事業規模やリスク等を総合的に勘案し、安定的に事業を継続していくために必要な財務指標および中期的目標として株主資本比率30%を掲げました。

目標達成に向けた基本方針は、毎期の利益の積み上げとしていますが、のれん等の減損損失による株主資本の毀損分については早急な補填が必要と判断し、2020年12月に500億円の劣後特約付シンジケートローン(以下、本劣後ローン)による資金調達を実施しました。本劣後ローンは、格付機関によって50%(250億円)が資本性認定＝株主資本と認められており、株式の希薄化による既存株主様の利益を損なうことがないため、当社にとって最適な資金調達方法だと判断しました。

サービス規模	'19期	'20期	'21期計画
国内駐車場	件数 20,337件	20,353件	20,364件
	台数 755,809台	746,033台	740,325台
タイムズカー	台数 57,716台	44,841台	58,000台
海外駐車場	件数 2,631件	2,834件	3,180件
	台数 665,774台	696,495台	719,871台

なお、調達した資金は今後の事業成長投資に活用してまいります。

株主還元につきましては、「持続的成長に必要な投資資金以外の余剰資金は配当を中心に株主様へ利益還元させていただく」ことが基本方針であり、今後もこの方針は変わりません。しかしながら、財務の健全性を高めることは経営の重要課題と認識していることから、より慎重に財務バランスを考慮したうえで株主還元を実施させていただきたく存じます。そのため、'21期の配当につきましては、一株あたり5円(配当性向15.4%)を予定しております。

中長期的な見通しと取り組み

中期的にも、感染症の世界的大流行によって起こっている密を避けた行動や、リモートワークをはじめとする働き方の多様化等は継続し、人々の生活やそれを支えるサービスに対するニーズも変わっていくと考えています。また、自動運転車や電気等のエネルギーを使った次世代自動車の開発、AI^{※1}やIoT^{※2}を活用した新しい交通関連技術の進化等により、モビリティ社会を取り巻く環境は大きく発展していくと想定しています。

このように変化・進化していく事業環境においても、私たちが創り出したい世界は変わりません。それは、グループ理念にもある「人々に求められる快適さ」を実現した世界です。そのために、従来から掲げている人(会員)、クルマ(モビリティ)、街(目的地)、駐車場の4つの

※1 知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術
※2 様々な物体(モノ)がインターネットに接続されることで相互に制御が可能となる仕組み
※3 あらゆるコンピュータによる情報処理や通信技術の総称

ネットワークの拡大とシームレス化を継続して推進していきます。

ネットワークの拡大については、営業ノウハウの共有や蓄積データの活用等による営業力強化に加え、サービスの拡充によってサービス価値を高め、2024年までに国内駐車場100万台、タイムズカー10万台、タイムズクラブ会員1,000万人を目指します。

シームレス化については、既存のサービスで培った知見を基にした新しいサービスや、ICT^{※3}を活用した高付加価値サービスを開発し、お客様が当社グループの全サービスをストレスなく一体的にご利用いただける環境を構築します。

現在、私たちは、感染症によって創業以来最も大きな危機に直面し、長い期間にわたって創り上げてきたサービスを、運営面やコスト面等あらゆる面において強力で改革しています。これまでも環境に合わせて「変える」ことは不断に行ってききましたが、今はそこにかかなりのスピードを要します。スピード感を持って強力な改革を実行する過程において、グループ社員も、サービスも、間違いなく一段と強くなります。そして、その強さは、私たちパーク24グループが、感染症が収束したのちに飛躍的に成長する大きな力になると、私は確信しています。

株主の皆様には、多大なるご心配をおかけしておりますが、私ども経営層はじめ、グループ社員一丸となって、'21期および中長期的な目標達成に向けて取り組んでおります。何卒、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

西川 光一

会社概要／株式の状況／株主メモ

(2020年10月31日現在)

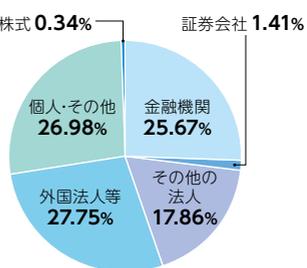
会社概要

商号	パーク24株式会社	
本社所在地	〒141-8924 東京都品川区西五反田二丁目20番4号	
創業	1971年8月26日	
役員	代表取締役社長 取締役	西川 光一 佐々木 賢一 川上 紀文 川崎 計介 山中 新吾 大浦 善光 (社外) 長坂 隆 (社外)
	監査等委員である取締役	笹川 顕史 竹田 恆和 (社外) 丹生谷 美穂 (社外)
資本金	20,134百万円	
決算期	毎年10月31日	
従業員数	5,565名 (連結)	
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人	

(2020年10月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	283,680,000株
発行済株式の総数	155,016,369株
1単元の株式数	100株
株主数	62,253名



株主構成

	人数 (名)	構成比	持株数 (千株)	構成比
政府・地方公共団体	0	0.00%	0	0.00%
金融機関	56	0.09%	39,792	25.67%
証券会社	43	0.07%	2,180	1.41%
その他の法人	390	0.63%	27,680	17.86%
うち、証券保管振替機構	1	0.00%	12	0.01%
外国法人等	589	0.95%	43,017	27.75%
うち、個人	83	0.13%	18	0.01%
個人・その他	61,174	98.27%	41,818	26.98%
自己株式	1	0.00%	528	0.34%

大株主の状況

名前	持株数 (千株)	持株比率
有限会社千寿	21,746	14.03%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	11,027	7.11%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,394	6.71%
西川 光一	8,110	5.23%
西川 功	6,194	4.00%
日本信号株式会社	3,853	2.49%
西川 恭子	3,200	2.06%
浅井 千寿	2,558	1.65%
USA AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	2,298	1.48%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	2,206	1.42%

株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	定時株主総会 10月31日 期末配当 10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711

(通話料無料／土・日・祝祭日を除く9：00～17：00)

※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

●ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは各口座管理機関を経由して、配当金振込指定書をお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについての詳細は、各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画本部 グループ企画部

TEL：03-6747-8120 FAX：03-6747-8110

E-mail：ir@park24.co.jp

ホームページにもIR情報を掲載しています。

https://www.park24.co.jp/ir/

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください



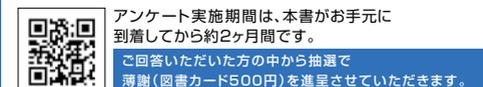
下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



空メールによりURL自動返信

☞ kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、下のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 https://www.a2media.co.jp)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



地球環境にやさしい FSC 認証紙と植物油インキを使用しています。